

小澤洋介、三戸素子、P・ヤング

## 友の会ニュース



2001年1月18日発行 No.27

## 1月12日(金)横浜イギリス館モーツァルト最終回、無事終了

三年にわたり、横浜の港の見える丘公園に建つ元イギリス大使公邸、通称イギリス館の凝縮した空間のコンサートシリーズ《モーツァルト》は第11回をもって終了しました。この間に演奏された曲は、実に33曲、以下のとおりです。

## 横浜イギリス館

## クライネス・コンツェルトハウス《モーツァルト》

1998年6月～2001年1月

Vol. 1 : 1998年 6月25日	Vol. 5 : 1999年 6月30日	Vol. 9 : 2000年 6月30日
Vol. 2 : 1998年 9月25日	Vol. 6 : 1999年 9月28日	Vol.10 : 2000年 9月14日
Vol. 3 : 1998年 12月8日	Vol. 7 : 1999年 12月15日	Vol.11 : 2001年 1月12日
Vol. 4 : 1999年 4月6日	Vol. 8 : 2000年 4月7日	

## モーツァルト弦楽五重奏曲 全6曲

弦楽五重奏曲 第1番 変口長調 KV174	Vol.3
弦楽五重奏曲 第2番 八短調 KV406	Vol.1
弦楽五重奏曲 第3番 八長調 KV515	Vol.1
弦楽五重奏曲 第4番 ト短調 KV516	Vol.5
弦楽五重奏曲 第5番 二長調 KV593	Vol.3
弦楽五重奏曲 第6番 変ホ長調 KV614	Vol.5

## モーツァルトピアノ三重奏曲 後期 全6曲

ピアノ三重奏曲：第1番 変口長調KV254	Vol.4
ピアノ三重奏曲：第3番 ト長調KV496	Vol.8
ピアノ三重奏曲：第4番 変口長調KV502	Vol.8
ピアノ三重奏曲：第5番 ホ長調KV542	Vol.4
ピアノ三重奏曲：第6番 八長調KV548	Vol.8
ピアノ三重奏曲：第7番 ト長調KV564	Vol.4

ホルン五重奏曲 変ホ長調 KV407	Vol.1
--------------------	-------

## 演奏者

弦楽五重奏：Vn三戸素子/Vn山田耕司/Vla小山貴之/Vla二宮隆行/Vc小澤洋介  
 弦楽四重奏：Vn三戸素子/Vn山田耕司/Vla二宮隆行/Vc小澤洋介  
 ヴァイオリンソナタ：Vn三戸素子/Pfクリスティーナ・ヴェーナー  
 ピアノ三重奏：サント・フロリアン三重奏団  
 ホルン五重奏：Vn三戸素子/Vn山田耕司/Vla小山貴之/Vc小澤洋介/Hr藤田乙比古

## モーツァルト弦楽四重奏曲 後期 全10曲

弦楽四重奏曲 第14番 ト長調 KV387「春」	Vol.7
弦楽四重奏曲 第15番 二短調 KV421(417b)	Vol.9
弦楽四重奏曲 第16番 変ホ長調 K428	Vol.11
弦楽四重奏曲 第17番 変口長調 KV458「狩」	Vol.9
弦楽四重奏曲 第18番 イ長調 K464	Vol.11
弦楽四重奏曲 第19番 八長調 K465「不協和音」	Vol.11
弦楽四重奏曲 第20番 二長調 KV499	Vol.7
弦楽四重奏曲 第21番 二長調 KV575「プロシヤ王第1番」	Vol.9
弦楽四重奏曲 第22番 変口長調 KV589「プロシヤ王第2番」	Vol.7
弦楽四重奏曲 第23番 へ長調 KV590「プロシヤ王第3番」	Vol.3

## モーツァルトヴァイオリンソナタ 後期全15曲中10曲

ヴァイオリンソナタ 第25番 ト長調 KV301	Vol.6
ヴァイオリンソナタ 第28番 ホ短調 KV304	Vol.6
ヴァイオリンソナタ 第30番 二長調KV306	Vol.6
ヴァイオリンソナタ 第32番 へ長調 KV376	Vol.2
ヴァイオリンソナタ 第33番 へ長調 KV377(374e)	Vol.10
ヴァイオリンソナタ 第35番 ト長調 KV379	Vol.2
ヴァイオリンソナタ 第36番 変ホ長調 KV380(374f)	Vol.10
ヴァイオリンソナタ 第40番 変口長調 KV454	Vol.2
ヴァイオリンソナタ 第42番 イ長調 KV526	Vol.10

皆勤賞の参加者に、「またもう一度最初から聴きなさい。」という方もいらっしゃいました。

今回のプログラム「弦楽四重奏の夕べ」は最後を飾るにふさわしく、モーツァルトの渾身の創造活動が迫ってくる3曲が演奏されました。このシリーズでは、省略されることの多いくり返しも、すべて原曲どおりに演奏されるのですが、今回の3曲は特に大曲ばかりで、イギリス館の前から出発する

最終バスの時間をにらみながらの演奏でした。また、このシリーズでは、「だれも知らないモーツァルト」と題する、未完成の断片や、6、7歳のころの作品等、CDにもなっていない聴いたことのないモーツァルト作品が聴ける名物アンコールがあるのですが、今回はモーツァルト13歳の時の弦楽四重奏曲第1番KV 78の第1楽章でした。それも最後まで聴いて、無事、最終バスに乗ることが出来ました。

半年間のイギリス館のリニューアル後は、新しい作曲家シリーズとして「ベートーヴェン」がはじまるそうですが、いったいどんな世界になるのでしょうか。

また横浜という場所柄、おいでになりにくかった方々もいらっしゃると思いますが、来年2002年度には《モーツァルト》後期弦楽四重奏曲全10曲の三夜

連続演奏会が計画中だそうです。会場は、東京文化会館にしたいようですが、人気のあるホールなので3日間とれるかがまだ分からないそうです。

今年のクライネス・コンツェルトハウスは、今度の2月6日の「ハンガリーの三人」、そして夏の7月公演、また10月にはメキシコ演奏旅行が予定され、ますます充実の一年になりそうです。

## 《モーツァルト》シリーズ終了に際し

友の会会員 津金秀臣

三井千恵子さんに誘われてクライネス・コンツェルトハウスを聴き始めてから間もなく2年なりますね。横浜のイギリス館でのモーツァルトシリーズは1月12日のコンサートをもって一応終了するということを知り、ちょっと淋しい気もします。此処でモーツァルト室内楽と劇的な再会をしたことを一寸お話しします。

戦後の混乱も少し落ち着いてきた1949年の秋でした。草深い田舎の小学校でも音楽教育の一環として、東京の音大からピアノとバイオリンと声楽の三人の学生さんを招き、講堂でささやかなコンサートが開かれました。白秋の「からたちの花」を歌われた学生さんの美しいソプラノは私達子供の心を静めるのに充分でした。でも私にとって最も印象が深かったのはバイオリンでした。ときには哀しみにすすり泣く女性のようにもあり、またときには喜びに躍り上がる子供たちのようでもあり人間の情緒を精密に表現するその音色にしばしば息をのむ思いでした。この曲のモーツァルトのバイオリンソナタであることを後から知ったのでした。私はその後レコード等で何度もヴァイオリンやチェロの演奏を聴きましたが、少年の時の感動は得られませんでした。それから49年の歳月が過ぎ、高校のクラス会で三井千恵子さんにクライネス・コンツェルトハウスのことを聞きました。

1999年4月6日は私にとって記念すべき日となりました。この日サンクトフローリアン三重奏団の生演奏を聴きに横浜のイギリス館に行きました。三井さんに最前列の席をとって

戴き少々気恥ずかしい心持ちで席に着きました。やがて小澤、三戸、フィリップの三氏が入場され席につくとすぐにモーツァルトピアノ三重奏曲ト長調KV564の第1楽章のやや速いテンポの旋律が室内に響き渡りました。そのとき私は50年間探し求め続けてきた極めて質の高いクラシック音楽に遂にめぐり会えたという感動に震えました。ライブの迫力はCDの比ではありませんでした。

私は感じました。この三名の演奏家がモーツァルトの意志を忠実に伝えようと全身全霊を注いでいることを。

その年の夏にシューベルトの八重奏曲を上野で聴いたときは壇上の八名の奏者が光り輝くのをみて、音楽のもつエネルギーを感じとりました。また八ヶ岳の大泉村で小澤洋介氏によるコダーイの無伴奏チェロソナタを最前列で聴いたときは、背後から聴衆の強い「気」感じ、それを押し返す様な小澤氏の気迫を前から感じ、まるで磁場の渦の中にいるような不思議な体験をしました。私はクライネス・コンツェルトのコンサートに行く度に、何か新しい発見をしてきました。

本年1月12日のコンサートをもってイギリス館でのモーツァルトシリーズは一応終了するとのことですが、小澤、三戸両氏の今後益々のご活躍をお祈りすることと同時に、この演奏家を紹介して下さった三井千恵子さんに心から感謝します。

## 小澤洋介ミュージカルに出演

年末12月20日から元日を除くお正月3日までの2週間、洋介氏は「世界中がアイラブユー」というミュージカルに出演しました。ミュージカルといっても、歌って、踊ったわけではなく、舞台上で2台のピアノと共に音楽を担当「あの洋介氏に、ミュージカル音楽が2週間も勤まるのだろうか」と周囲の心配をよそに、本人はいたって上機嫌で無事千秋楽を終えました。

一説では、女優の秋本奈緒美さんとか中山忍さんとか、美しくスタイルのよい方々を至近距離でたっぴり眺め、目の保養になったからだそうです???制作スタッフの「一流のチェロがほしい」という希望で実現したとあって、とても和やかなチームワークで舞台づくりが進められたそうです。いつもの追及する音楽とはちょっと違ったお正月のひとコマでした。

## 今年の主なコンサートとスケジュール

- |       |                              |                       |
|-------|------------------------------|-----------------------|
| 1月12日 | クライネス・コンツェルトハウス《モーツァルト》Op.11 | 横浜イギリス館               |
| 2月6日  | クライネスコンツェルトハウスOp. 10         | 東京文化会館                |
| 3月1日  | 米カリフォルニア・サンオビスポ              | サンクト・フローリアン演奏会        |
| 4月7日  | 骨髄バンクチャリティー                  | サンクトフローリアン演奏会 鎌倉円覚寺   |
| 4月9日  | サンクトフローリアン演奏会                | 東京文化会館                |
| 5月    | 三戸素子、クリスティーナ・ヴェーナー演奏会        | オーストリア                |
| 7月15日 | クライネスコンツェルトハウスOp. 11         | 東京文化会館                |
| 10月   | 小澤洋介チェロの世界in 八ヶ岳             | バッハ無伴奏チェロの組曲 シリーズ その2 |
| 10月   | クライネス・コンツェルトハウス              | メキシコ演奏旅行              |

## コンサートの詳細とお知らせ

## 2月6日(火) 東京文化会館室内楽シリーズ

クライネス・コンツェルトハウスOp.10  
20世紀の音楽現場 ハンガリーの三人

- ・コダーイ：ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲
- ・バルトーク：「コントラスト」
- ・ドホナーニ：六重奏曲

出演：ピアノ：ラファエル・ゲラ | ヴァイオリン：三戸素子 | ヴィオラ：二宮隆行 |  
チェロ：小澤洋介 | クラリネット：山根公男 | ホルン：藤田乙比古

東京文化会館 小ホール 19pm開演 ¥3,500

お問合せ：ハラヤミュージックエンタープライズ TEL.03-3587-0218  
クライネス・コンツェルトハウス事務局 FAX.042-945-6329

## 3月1日(木) サンクト・フローリアン三重奏団

アメリカ公演 カリフォルニア サン オビスポ  
・モーツァルト：ピアノ三重奏曲 ト長調KV496  
・スメタナ：ピアノ三重奏曲 ト短調

出演：サンクト・フローリアン三重奏団 三戸素子/小澤洋介/フィリップ・ヤング

## 4月9日(月) サンクト・フローリアン三重奏団

東京文化会館 19pm開演 ¥5,000

- ・モーツァルト：ピアノ三重奏曲 ト長調KV496
- ・西澤健一：ピアノ三重奏曲 第2番 (委嘱作品)
- ・シューベルト：ピアノ三重奏曲 第2番 ほか

出演：サンクト・フローリアン三重奏団 三戸素子/小澤洋介/フィリップ・ヤング

新規会員を随時募集しております。知人、ご友人の方々に友の会をぜひご紹介下さい。

年会費 一口 1,000 円

郵便振替口座

00260-1-13926

加入者名

「友の会 小澤洋介・三戸素子・  
フィリップ・ヤング」

新規入会ご希望の方はその旨お書添えの上直接年会費をお振込下さい。